

令和8年度シラバス（芸術）

学番41 新潟県立栃尾高等学校

教科(科目)	芸術（美術Ⅰ）	単位数	2単位	年次	1, 2, 3年次
	必履修	必選択	総合選択	自由選択	
使用教科書	光村図書「美術1」				
副教材等	なし				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①社会の価値創造に寄与できる力を育成します。 ②自分の居場所に主体的に粘り強く関わろうとする態度を育成します。 ③自分と他者の人権を共に尊重する姿勢を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①各教科・科目で習得した知識・技能を、他教科や他分野で活用するなど、教科横断的な教育活動を展開します。 ②地域と連携する活動を教育課程に位置づけ、授業での学びが地域の充実に活かされるような授業を行います。 ③人文・自然科学系列、福祉・家庭系列、工業技術系列、ビジネス・情報系列の4系列を設置して、個別最適な学びを軸とした主体的な学習を進め、幅広い進路希望に対応します。 ④選択授業、少人数授業を数多く設定し、個性を生かした主体的な選択や実践的・体験的な学習を重視することで、生徒の適性や理解度に合わせた丁寧でわかりやすい授業を実施します。 ⑤一人ひとりの人権の尊重のもと、発達支持的生徒指導を軸に、みんなが安心して学べる場所にする風土づくりに取り組みます。

2 学習目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3 指導の重点

- ・造形活動の基本的理解と体験を踏まえ、自分の良さを発揮できる表現ができるようにする。
- ・自己の感じ方や発想、想像力を活かした表現の工夫ができるようにする。
- ・自然、芸術作品、友人の作品などの良さに気づき、自分の感じ方で鑑賞することができるようにする。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、作品、レポート、ワークシートなどから、評価します。	以上の観点を踏まえ、アイデアスケッチ、ワークシートなどから、評価します。	以上の観点を踏まえ、授業中の発言、発表や討論への取組レポートやワークシートへの取り組み、振り返りシートなどから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	美術Ⅰについて	オリエンテーション		「美術Ⅰ」で学ぶ内容を理解する。	1	授業への取り組み
	名前の文字をデザインする	デザイン	レタリング	様々な文字のデザイン(フォント)について学ぶ。	3	作品 授業への取り組み
5	色の特徴を知る	デザイン	色彩演習	色の三要素や配色について理解する。 絵の具の使い方、塗り方、混色について学ぶ。	12	カラーワーク、作品 授業への取り組み
6	鉛筆で描く	絵画	鉛筆デッサン	紙コップをモチーフとし、観察力、描写力を身につける。	2	作品 授業への取り組み
7	画面構成を学ぶ	絵画	抽象画	モダンテクニックを利用した抽象画を制作し、基本的な造形要素や構成の原理を理解する。	10	作品 授業への取り組み
8						
9	版の表現	版画	コラグラフ	「自分の好きなもの」をテーマとして制作する。 様々な素材を効果的に利用して表現する。	18	作品 アイデアスケッチ 授業への取り組み
10						
11	自然物から学ぶ	彫刻	石の模刻	紙粘土を使用して立体感覚を高める。 石をよく観察し、主題に合った着彩をする。	10	デッサン、作品 授業への取り組み
12						
1	生活の中のデザイン	デザイン (立体)	コースター	幾何学模様のデザインを考え、革を素材として制作する。 用具の正しい使い方を学び、丁寧に仕上げる。	10	作品 アイデアスケッチ 授業への取り組み
2						
3	さまざまな絵を知ろう	鑑賞	平面絵画	絵画作品を観察し、様々なことに気づく。 絵画の時代背景、制作意図、作者について理解し、調べたこと、感じたことを第三者にわかりやすく伝えることができる。	4	レポート 発表 授業への取り組み

計70時間(50分授業)

7 課題・提出物等

作品、レポート等

8 担当者からの一言

作品を作ることは、思考し、表現し、伝えることです。そして、いろいろな作品を見ることは、作品制作にヒントを与えてくれるだけでなく、生活を豊かにし、彩りのあるものにしてくれます。美術Ⅰでは、観察力、表現力の基本を身につけるとともに、様々な作品を鑑賞しながら知識だけでなく、想像力を働かせてほしいと考えています。そして、自分の好きな作家や作品を是非見つけてみてください。作品を作ること、また自分の好きな作家や作品から、自分自身を知り、今後の在り方が見えてくるかもしれません。授業を通して学んだことを授業のみならず、日常生活でも生かし、自分らしい彩りのある生活へ昇華させて下さい。